

# 11月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和3年10月29日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」  
自ら学ぶ子・人とつながる子  
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子  
<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



## やりがいを感じること

木枯らし1号が吹き、急に気温が下がり、子どもたちが暖かそうな上着を着て登校する季節となりました。思わずポケットに手を突っ込みたくなる子どもたちの気持ちも分かりますが、「危ないので手は出して歩こうね。手袋があるといいね。」と声をかけています。

10月10日(日)の運動会では、多くの保護者の皆様に参観いただき、ありがとうございました。体調管理や参観カードの提出など、皆様の協力とルールを守っての参観のおかげで、子どもたちの競技や演技が滞りなく進み、まさにおうちの方も含めて「みんなで一致団結！笑顔あふれる最高の運動会」になりました。

練習を積んできたことに自信をもって本番に臨む子どもたちの姿が見られ、どの学年の演技や競技も見ごたえのあるものになりました。学校だけでなく、きっと家に帰っても踊ったり、体操をしたりしていたことでしょう。ほめていただいたり励ましていただいたりして自信を付けた子どもたちの姿を見ていただけたのではないのでしょうか。

3部制をとった運動会でしたが、6年生はすべての部に参加していました。役割分担をし、児童会本部役員や応援リーダーのほかにも、前に立って体操をしたり、競技の準備をしたり、決勝カードを渡したり、放送をしたり、タブレットを手に活躍の様子を撮影したり、どの子も自分の仕事に責任を持ち、生き生きと動く様子は、6年生の学年目標である「姿で魅せる」を体現していました。きっと自分の仕事にやりがいを感じて動いていたのでしょう。保護者の皆様からいただいた感想にも、「6年生が下級生競技の手伝いや準備をしている姿がとてもよかったです。よいお手本だなと思いました。」などと温かい言葉がたくさん見られ、うれしくなりました。そのことを知った子どもたちも喜んでいました。本当にありがとうございました。

10月には、1年生の子どもたちと校区内の保育園・幼稚園・こども園の年長児との交流活動もありました。1年生は元気に園児に声をかけ、歩くときや集まる時にはそっと気遣う様子が見られ、園児との交流のなかで成長を感じる場面が見られました。ぼくたち・私たちがリードしようという気持ちが表れたのだと思います。



子どもたちの力を伸ばすためには、少し背伸びをさせる機会が必要です。少し勇気を出して、一生懸命がんばって達成するという場面が、子どもたちがやりがいを感じる機会となり、さらにジャンプアップする意欲につながります。どの学年でも少しずつ背伸びをさせ、達成感を味わわせることで、「できる！」「次の目当てに向かってがんばろう！」という気持ちや態度を育てていきます。今後とも、ご支援・ご協力をお願いします。

校長 小森昌子

11月から学習の一環でタブレットを持ち帰らせます。しばらくはオフライン(ネットにつながらない)のでできる課題を出し、家庭でもタブレットが使えるようにしていきます。時期を見てオンラインでの学習課題に取り組めるようにしていきたいと考えています。Wi-Fi等のネット環境の整備については、ご負担をお掛けしますが、何卒ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。